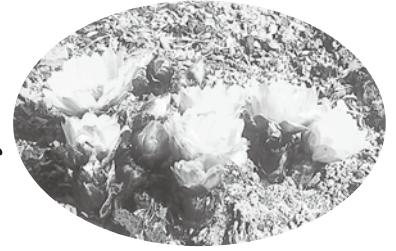




福寿草



発行: 社会福祉法人辰野町社会福祉協議会・辰野町ボランティアセンター・情報紙編集委員会 TEL.41-5558

ボラセンと地域をつなぎます！

辰野ボランティア・市民活動ネットワーク運営委員会

4名の新しい委員さんを加え、16名で新年度をスタートしました。任期は令和7年3月31日までの2年間です。ボランティアセンターと地域のつながり、ボランティア・市民活動団体の横のつながりを作っていくための事業を行っていきます。よろしくお願いします。

運営委員紹介

- ◇委員長 羽場とよ子（赤羽）
- ◇副委員長 堀内武男（宮所）
- 〃 三輪眞佐子（平出）
- ◇運営委委員
 - 赤羽秀介（下辰野）
 - 一ノ瀬雄大（役場まちづくり政策課）
 - 岡田 誠（教育委員会）
 - 冲山芳江（平出）
 - 勝井千明（宮木）
 - 柴美奈子（下辰野）
 - 立澤富朗（川島）
 - 達崎節子（平出）
 - 千田富子（上辰野）
 - 殿内幸子（宮木）
 - 根橋春江（北大出）
 - 増澤利定（上辰野）
 - 向山裕二（平出）

ボランティアセンターへのご意見や、どこに相談すれば良いか困った時、こんな活動しているよ！等情報を運営委員のみなさんにお声掛け下さい。

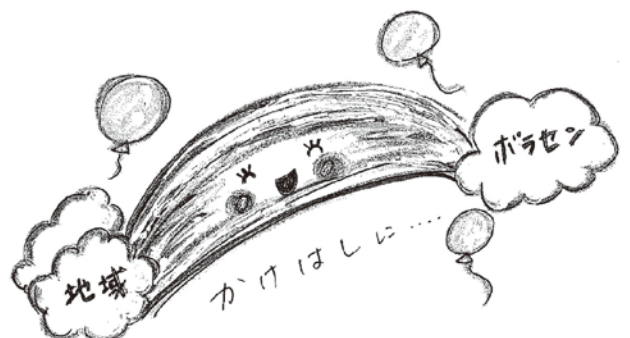
- ◇事務局
 - 丸山貴之（社協事務局長）
 - 小野三佳（ボランティアコーディネーター）
 - 長岡春香（ボランティアセンター職員）

委員長あいさつ

春らんまん♪大変良い季節となりました。
ボラセン運営委員会も4名の新しい委員を迎え、コロナも少しずつ収束してきましたので、本来の行事が出来る事を楽しみにしています。コロナ禍の長いトンネルで人と人との交流も途絶えがちだったのを少しずつ回復出来れば嬉しく思います。

「ボラセンはいいところだよ」と皆が寄ってきてくれる所「ボラセンに行くと楽しいよ」とお友達を誘ってきてくれる。そんな町の居場所となれば大変嬉しく思います。今期も笑顔でがんばりたいと思います。
どうぞよろしくお願い致します。

羽場とよ子





お花見縁側を行いました



今年は全国的に桜の開花が早く、城前の桜は3月29日に開花、4月1日には満開となりました。4月5日～12日までの1週間、お花見縁側を4年ぶりに制限無く開催することが出来ました。桜茶の無料提供も再開し、期間中、約300人の方が立ち寄って下さり、楽しい時間を過ごされました。

野点傘と木のベンチを設置し、桜茶を飲みながら初対面の人も話が弾んだお花見縁側。

サックス奏者の佐藤宏信さんが今年も突撃ライブをして下さいました。春の歌を何曲も演奏してくださり、口ずさむ方もいらっしゃいました。通りがかりの方も足を止めて聞いていました。



辰野菓子組合の協力で、ビスケット、揚げ団子、五平餅、桜餅、うぐいす餅、柏餅、饅頭、パンなどが毎日並びました。工房ぬくもりの麺類の販売も行いました。「お花見のお土産が買えてうれしい」と喜ばれました。

4年ぶりに桜茶無料サービスを行いました。カップが風で飛ばされない様に竹を筒状にカットし、桜のシートを貼った手作りのカップフォルダーで桜茶をお出しました。多くの方から風情があっていいね。との声をいただきました。



突如、視覚障がいをお持ちの栗津原さんのハーモニカとウクレレシアの宮澤さんの演奏で歌声喫茶が始まりました。立ち寄った方たちがいっしょに唱歌をうたい、「久しぶりに唱歌を歌って懐かしくて楽しい！」と1時間ほど楽しい時間を過ごしました♪



中谷勝明さんが辰野町内で撮影した写真のポストカード展を行いました。「えっ？これ辰野？こんなに良い所があるなんて知らなかった」と言う声が多数聞かれました。ポストカードは通年ボラセンで販売しています。

ボラセン入口に、数々の一輪挿しにお家の庭に咲いていた様々なお花を生けて飾られた春いっぱいコーナー。珍しいお花も並び、話題と癒しの提供の場となりました。



お花見縁側は、辰野ボランティア・市民活動ネットワーク運営委員会が、地域のみなさんの交流の場、憩いの場の提供と城前の桜に関心をもっていただくきっかけ作りとして開催しています。





「はじめての手話体験講座」を行いました



最近、テレビドラマ等で手話を目にすることが多くなりました。そこで、辰野手話サークルのみなさんを講師に手話体験講座を行いました。あいさつや自分の名前、食べ物、日常生活で行く場所などの手話を教えていただき、最後に聴覚障がい者の会員さんと会話をしてみました。

「ありがとう」の手話

片方の甲に、手刀の形にしたもう片方の手で触れて、手刀の手を上にあげます。この動作は相撲に由来し、土俵での取り組みが終わった後に、勝った力士が手刀を切って賞金を受け取る動作から来ています。



「ラーメン」「うどん」「そばめん」を食べる手話

それぞれ右手で、ラーメンは人差し指と中指を重ね、指文字のラを作ります。うどんは太いので、親指で。そばめんは細いので小指で食べる動作をします。



「銀行」の手話

両手でOKの形を作り、上下に動かし、お金を積み上げる動作をします。

「ボランティア」の手話

以前は“奉仕する”という意味の動作でしたが、今は“共に歩く”という意味で両手の人差し指と中指を伸ばしてチョキの形にし、下に向けて足を表し、左右から中心へトコトコと寄せて前に向かって並んでいしょに歩く動作になっているそうです。



参加者の感想

- ◇手話は時代に沿って変わっていくそうです。一つ一つの手話の動作に意味があって、意味を教えてもらったことで、なるほどお・・・と、とても覚えやすかったです。
- ◇短時間で色々な手話を教えていただき、自己紹介が出来るようになりました。ぜひまた講習会をして欲しいです。
- ◇楽しかったです。もっと他の手話も覚えたいです。



辰野手話サークルでは、ご希望があれば少人数でも手話体験講座を開催します。ご希望の方・団体はボランティアセンターまでお問合せ下さい。

「いちご」の手話

鼻の形と毛穴のブツブツをいちごにみたてて、5本の指先で鼻の頭をつつき



“オープンマイクで「お話しを聴くひととき」”が行われました！

朗読グループ「ひびき」の主催で、「お話しを聴くひととき」がオープンマイクという形で開催されました。オープンマイクは、会場となったオーリアッドの「店のマイクを使って音楽や朗読他のパフォーマンスを行うことができる・店のマイクを飛び入りの客に開放する」という営業形態です。

物語、エッセイ、詩、絵本などの朗読を聞いたり、ハーモニカやウクレレの演奏に合わせてみんなで歌を歌ったりして楽しいひとときを過ごしました。

参加者の感想

- ◇どの方のお話も心に響く素晴らしい朗読で、心から楽しみ、また良い学びの時間でした。
- ◇町のあちらこちらで、音楽や朗読や何かの集まりが普通に開かれている。そんな町いいですね。



お知らせ掲示板



お問い合わせ・お申し込みは

ご意見・ご感想を
お寄せください

辰野町ボランティアセンター

〒399-0426 長野県上伊那郡辰野町宮木城前 2674-1

TEL (0266) 41-5558 FAX 41-3922

平日午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

e-メール volunteer@tatsunomachi.jp

大型アルミ収集・アルミ缶収集に

ご協力いただきありがとうございました

令和 4 年度のアルミ収集の集計は、下記の様になりました。ご協力ありがとうございました。

引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

【アルミ缶】2207kg

【大型アルミ収集】アルミサッシ・鍋等：131kg

ステンレス：6kg 銅：1kg



還元金で、ボラセンシ
ョップ用のカップホル
ダーとラジカセを買っ
ていただきました。

牛乳パックの収集を中止します

長い間、牛乳パックの収集
をしていましたが、地域活動
支援センターでの作業が難し
くなったため、収集を中止す
ることとなりました。今まで
ご協力いただきありがとうございました。



「音手紙ほのぼの」春号 CD をお届けします

今回は、「石井桃子の世界・石井桃子による大
人も楽しめる童話・昔話」をお届けします。「ク
マのプーさん」など海外の数多くの童話など
の翻訳家として有名な石井桃子の書いた大人
も楽しめる童話や昔話の中から春らしいほっ
こりした作品を朗読しました。

音手紙ほのぼのは、70 歳以上でご希望の方
には無料で CD をお渡しします
CD は返却不要です。

申し込み・問い合わせは

辰野町ボランティアセンターまで



ボランティア情報紙「福寿草」を
ご希望の方は辰野町ボランティ
アセンターにありますのでお気軽
にお出かけください。

辰野町はたの里
世代間交流センター

茶の間

通信101

TEL/ 0266-41-2180

FAX/ 0266-41-2187

月～土・9:00～20:00

【5月の休館日】

●毎週日曜日・祝日

●5/3(水)～5/7(日)
は休館です。



●茶の間ギャラリー

5月9日(火)～5月20日(土)まで
「グランマ三人展」



5月の
予定

パッチワークや手芸、クラフト、アート作品など、
“三人展”ならではの多種多様な作品が展示され
ます。ぜひ、ご覧ください！



●オレンジカフェ 5月10日(水) 10:00～12:00

季節のモチーフで折り紙のリースを作ります！／

●折り紙サロン 5月19日(金) 10:00～11:30

●元気快福相談会 5月24日(水) 13:30～15:30

ちょっと気になる健康のお悩みを相談してみませんか？
町の保健師・管理栄養士・歯科衛生士がお聞きます！



次回のつづきは
久保田麻友さんです。

篠原忍

毎年どんなケーキにしようか悩むの
も幸せな時間だった。いつか思い出して
くれるだろうか。母のケーキを。

あの時の幸福感が忘れられず、私は
息子にも毎年誕生日ケーキを手作りし
た。全部で17個。高校を卒業して家を
出た息子には、その後誕生日ケーキを
作れていない。子どもの成長はあと言
う間。

母は毎年誕生日にケーキを作ってく
れた。卵を泡立てたりオーブンでケー
キが膨らむのを眺めたり、甘い香りに
ワクワクした。私は冬生まれだったので
イチゴはなかったけど、大好きなフルー
ツを自由に飾る。私の為のケーキは本
当に特別だった。

つづきは

